

兼子 春治 議員

国本廃家電問題の対策は

問 この問題の反省点と再発防止策は。

答 業者に対し再三指導したが、法的強制力がなく指導に効きなかった。措置命令を发出して撤去作業を行ったが完全撤去に至らず、行政代執行の費用を予算計上した。再発防止策として強制力を持った条例の改正を考えている。

道の駅を設置するべきでは

問 農の6次産業化と市の活性化を図るため道の駅を造るべきである。また日本一の道の駅とするため松下こレクシヨンの展示施設を併設すべき。

答 国道1号線沿いをエリアとし、20km圏内の人口・交通量・近隣道の駅の経営状況等道の駅可能性調査を実施中である。設置については、採算性等について調査の結果をふまえ慎重に検討していきたい。



国本地区の廃家電の状況

人口減少社会への対応は

問 10万都市を目指すため土地区画整理事業と企業誘致を積極的に進めるべき。企業誘致では企業立地可能性調査を実施し情報発信すべきでは。

答 人口増加のために土地区画整理事業は有効な手法で、定住促進に向け今後も検討したい。企業誘致は企業立地調査を実施中で、企業立地に向けた土地利用構想案を整理していきたい。

田中 克周 議員

快適な市役所窓口サービスの提供を

問 窓口カウンターにプライバシーを保護する仕切り板を設置すべきではないか。

答 市民課では、モニター画面に覗き見防止フィルムを貼るとともに、プラスチック製の仕切り板を設置し、プライバシーに配慮している。その他の個人情報を取り扱う部署についても検討していきたい。

問 1階に授乳やおむつ替えのスペース、キッズスペースが必要と考えるがどうか。

答 安心して授乳やおむつ替えをするためには、専用の個室が必要となり、大規模改修をしなければならぬ。また、子供が遊べるスペースの余裕はなく、設置は困難である。今後、庁内のレイアウト変更をする際などに、スペースの確保を検討していきたい。

障害者差別解消法に対する市の取り組みは

問 先の参議院選挙において、障害者への差別解消のための取り組みはどうか。

答 広報用音声テープの配布、投票所での投票順序の設定、段差解消のための仮設スロープ、車いす用記載台の設置、代理投票や点字投票、郵送による不在者投票の実施等の配慮をした。



仕切り板を設置した窓口カウンター